Japan Evangelical Theological Society

日本福音主義神学会

J・E・T・S・NEWS Vol.43

発行所／460-0022　愛知県名古屋市中区金山２丁目1-3　東海聖書神学塾内
学会サイト・アクセス　http://evangelical-theology.jp

新しい日常生活と神学の営みの喜び

全国書記　檀原久由

今回のJETSニュースの原稿を書くにあたり、私は新型コロナウイルスの蔓延によって巣ごもり状態にあります。また、当たり前だった日常生活の風景が一変して、社会的な距離を意識しつつ、大人数の会食を控えたり、旅行に出ることを控えたり、集まることや人との接触を避けるようにという同調圧力に困惑しています。

キリスト教会に目を移すならば、公衆衛生と感染予防の観点から、密集することを避ける行動や諸活動を自粛する動きが続いています。日曜日礼拝に関しても、聖餐が執行できなかったり、礼拝出席者の人数が制限されたり、歌う賛美から沈黙の賛美へと、簡略化された礼拝風景が当たり前になりつつあるのではないでしょうか。その一方で、複数礼拝やオンラインでの礼拝を配信する教会、週報等の教会印刷物の手配達が急上昇中とあります。その分、牧師の肉体的・精神的な負担は増しているように思えます。牧師も教会も、３密を避ける意識が生み出すいろいろな問題に敏感にならざるを得ません。

これらをクリスチャンの新しい日常生活と呼ぶことになるかは分かりませんが、私たちは当分の間、このような教会生活を続ける状況にあると覚悟すべきでしょう。現実問題としては、感染を恐れるノンクリスチャンの家族がクリスチャンの礼拝出席を止めたり、高齢クリスチャンの欠席が増えたり、公共交通機関を使わずに行ける教会探しという事態が起こっています。教会の集会が制限されれば献金額も左右され、今までのような教会財政が維持できなくなる恐れが出てくるはずです。世の中の飲食店や旅館が倒産する事態になっていまから、教会には関係がないとは言えない時代にあると考えるべきでしょう。

福音的な教会は、教会に人を集めることを主眼とするような活動が重んじられてきましたから、活動しない教会の意味を問い直さなければならないことでしょう。人を教会に呼び集めることができない状況下で、教会とは何か、福音宣教とは何かを考えめぐらすことは、単に個別の教会や牧師が直面する課題ではなく、教団にも当てはまると思います。

このようなコロナ禍の中で、人々の関心が仕事の見直しや家族の在り方に止まらず、自分の人生観や死生観にも及んでいるという新聞記事がありました。教会活動が制限され、何もできそうもない時だからこそ、エクレシアとしての教会の意義は何なのか、伝道の意義とは何かを牧師も信徒もじっくりと考えるときではないでしょうか。在宅勤務が普通になりつつある時代、有意義な時間の余裕が与えられていると考えるならば、神学の営みの中で、教会の本質論から見えてくる福音の豊かさや喜びを見出そうではありませんか。

（日本ホーリネス教団安城キリスト教会牧師）

◆各地区部会報告◆

東部部会報告

I　新型コロナウイルス感染拡大に伴い、会員に文書を送付して承認を求めた。

1. 2019年度理事会構成

・役員会：関野祐二（理事長）、岩上敬人（会計）、
野村天路（書記）
・部門理事：聖書神学／山﨑ランサム和彦、
歴史神学／丸山悟司、三宅規之、
組織神学／岡村直樹、
実践神学／渡辺聡、
学会誌／平塚治樹、山﨑ランサム和彦

2. 2019年度報告（2019. 4.1~2020. 3.31）

（1）理事会　4回：2019年7月19日、10月25日、
12月12日、2020年3月5日
（2）春期研究会：2019年6月10日（月）14:00~17:00、
OCC8階チャペル、参加者87名
テーマ：「キリスト者の希望」
講演1：「キリスト者の希望
――ヘブル人への手紙から復活の希望を考える――」
山口希生氏（東京基督教大学）
講演2：「ライトに学び、ライトを超えよう
――「驚くべき希望」のケース――」
中澤啓介氏（大野キリスト教会宣教牧師）
（3）秋期研究会：2019年11月25日（月）14:00~17:00、
OCC8階チャペル、参加者46名
テーマ：「今、黙示録を読み直す」
岡山英雄氏（東松山福音教会牧師）

3. 会員移動

◎入会（個人、役職等は入会当時）
・濱和弘氏（日本ホーリネス教団
・小金井福音キリスト教会牧師）正会員
・上野浩之氏（新生キリスト教会連合、
只見キリスト教会伝道師）正会員
・石井秀和氏（ニューライフ・ミニストリーズ
・サンライズ杉戸教会副牧師）正会員
◎種類変更（準会員から正会員へ）
・下村明矢氏（日本福音自由教会協議会・国内宣教師）
・川村清治氏
（日本ネクスト・タウンズ・ミッション・関東栄光教会）
◎退会（個人会員）
・川崎廣氏、三野孝一氏、野口誠氏
2020年3月現在
：正会員141名、準会員14名、賛助会員12団体

4. 役員選挙

任期満了に伴い、会計役員を岩上敬人から三宅規之に交替。はがきによる信任投票を実施した。

5. 決算報告（岩上理事）、**会計監査報告**（渡辺聡理事）

6. 審議事項

（1）2020年度事業計画案（関野理事長）
・新型コロナウイルスの世界的感染拡大に伴い、秋期研究会を一年延期する。2020年度の事業計画案も内容の変更を余儀なくされた。
・2020年度は全国研究会議が行なわれる予定となっている。これに合わせて、東部部会では年間テーマを教会論、キリスト教倫理、宣教論に先立つ「人間論」とする。予定していた春期研究会テーマ「人間論――キリスト者の成熟を目指して――」は来年度へ先送りする。神学の側面から人間論を深めることは折にかなった営みであると確信する。
（2）2020年度理事会の件
・役員会：関野祐二（理事長）、三宅規之（会計）、
野村天路（書記）
・部門理事：聖書神学／山﨑ランサム和彦、岩上敬人、
歴史神学／丸山悟司、組織神学／岡村直樹、
実践神学／渡辺聡、
学会誌／平塚治樹、山﨑ランサム和彦

II　投票結果

総会の報告事項と審議事項の文書送付によって承認を求めた結果、有効投票87票、総会の報告事項と審議事項への承認85票、三宅規之の役員就任の信任84票。

中部部会報告

1. 2019年度理事会

理事長／檀原久由（全国書記）、書記／関昌宏、
会計／池上泉、学会誌／大庭貴宣（全国学会誌）
広報／東正明、会計監査／下山孝佳

2. 2019年度報告（2019. 4.1~2020. 3.31）

（1）理事会4回：2019年5月21日、6月3日、8月5日、
11月11日、2020年2月17日
（2）公開講演会：2019年5月21日（火）
金山クリスチャンセンター
テーマ：「ディスペンセーション主義の聖書解釈法
・教会論・終末論を分析・評価する」
講師：安黒務氏（日本福音教会一宮チャペル牧師）
（3）秋期講演会:2019年11月18日（月）
金山クリスチャンセンター
テーマ：「超高齢化社会と教会」
講師：片岡由明氏（日本長老、鈴鹿キリスト教会）

3. 中部部会報20号の発行

檀原久由「巻頭言」、安黒務「ディスペンセーション主義の教えとキリスト教シオニズムの実践に関する分析と評価」、片岡由明「超高齢化社会と教会」、相馬伸郎「教会の本質をなすディアコニアによる教会形成」

4. 会員移動

・入会：古川昌延氏、ディモン・チャ氏、永江桂子氏、
・退会：村上久氏
2020年4月現在：
正会員21名、準会員2名、賛助会員2団体

5. 2020年度の理事会と事業計画案

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、役員選挙ができなかったため、2019年度と同じ役員構成と2020年度事業計画変更案・予算案を総会に提出し、承認された。

（1）理事会
檀原久由（理事長）、関昌宏（書記）、池上泉（会計）、
大庭貴宣（学会誌）、東正明（広報）、下山孝佳（会計監査）
（2）理事会は7月20日と2021年2月17日の2回、
今年度の春期公開講演会は1年延期とする。
（3）2020年5月の公開講演会は1年延期とする。

西部部会報告

1. 2019年度理事会

坂井純人（理事長）、岸本大樹（書記）、石崎伸二（会計）、
理事：大田裕作、金井由嗣、鎌野直人、杉貴生、瀧浦滋、
袴田康裕、正木牧人、南野浩則、吉田隆

2.2019年度報告

（1）春季研究会議：2019年6月10日（月）、大阪聖書学院
テーマ：「キリスト教と日本」

講師：山口陽一氏（東京基督教大学学長）
パネル：正木牧人氏（神戸ルーテル神学校校長）、
鎌野直人氏（関西聖書神学校校長）、
太田裕作氏（関西聖書学院院長）
コーディネーター：金井由嗣氏、吉田隆氏、岸本大樹氏

（2）秋季研究会議：2019年11月18日（月）
福音聖書神学校
テーマ：「伝道の神学」
講師：河原崎晃氏（関西聖書神学校舎監、
日本イエス・神戸中央教会牧師）、
吉田隆氏（神戸改革派神学校校長、甲子園教会牧師）
コーディネーター：石崎伸二氏、袴田康裕氏、
南野浩則氏

（3）九州地区講演会：2020年3月20日（金）、
九州クリスチャン・フェローシップ香住ケ丘キリスト教会
テーマ：「聖書翻訳について
―日本聖書協会共同訳を中心に―」
講師：津村春英氏（大阪日本橋キリスト教会牧師）

3. 会員移動
・退会：大川修平氏、大塚篤氏、岩井満氏、重富勝己氏、
徳元篤氏、友寄徳治氏、鍋谷堯爾氏、藤井義生氏、
松平ヨシュア氏、村田充八氏　以下10名

4. 理事選挙
選挙の結果、以下の6名が選ばれた：岸本大樹、石崎伸二、袴田康裕、南野浩則、岩上祝仁、徳永大。尚、関西聖書学院関係者からオブザーバーを加えることが承認された。

5. 新型コロナ感染拡大に伴い、2020年度の春季研究会議を中止した。

6. 全国研究会議
2020年11月予定の全国研究会議の開催については、担当部会として、1年延期を全国理事会に提案することとなった。

7. 九州地区の講演会は2020年度には行わないが、九州独自では財務的に厳しいので西部部会の支援を検討する。

8. 2020年度の役員
坂井純人（理事長）、石崎伸二、岩上祝仁、岸本大樹、
鎌野直人、杉貴生、瀧浦慈、徳永大、袴田康裕、正木牧人、
南野浩則、吉田隆

学会誌報告

1. 2019年度学会誌編集委員：
委員長／坂井純人、校正／平塚治樹、山崎ランサム和彦、
書記／大庭貴宣、会計／平塚治樹、
広告／南野浩則、坂井純人

2. 51号については2020年の全国研究会議と連携する形で論文や記事を掲載する予定であったので、会議が延期となった場合には、今年の発行の中止を考える。

3. 予算については、昨年度の残金があるので全国会計からの支出は不要となった。

◆ 全国理事会及び全国研究会議準備委員会議事録 ◆

日　時：2020年6月8日（月）13:00~15:45
会　場：ZOOM会議（参加者の居住地）
出席者：東部部会　関野祐二（全国理事長、東部部会理事長）、
平塚治樹（学会誌）
中部部会　檀原久由（全国書記、中部理事長）
西部部会　坂井純人（西部部会理事長、学会誌編集委員長）、
石崎伸二（全国会計）
岸本大樹（全国研究会議）、
鎌野直人（全国研究会議）　以下7名
全国研究会議議事終了後、岸本と鎌野は退席
聖　書：（1ペテロ3:15）
祈　り：檀原全国書記

【全国研究会議】 13:00~13:45
・2020全国研究会議準備委員長の岸本から、新型コロナの影響を考え、全国会議の1年延長の提案があった。また、延期が承認された場合の今後の作業を確認した。

【報　告】
1. 各部会の報告（活動報告、総会報告、会計報告等）が了承された。
（1）部会では、全国理事会から求められた規則改正が承認された。
（2）中部部会は総会を5月から7月20日に変更する旨の報告があった。
（3）西部部会の2020年度の活動は中止となった。

2. 全国会計から、学会誌51号発行の有無によっては出版費支出がゼロ、全国理事会費もオンライン化によってゼロとなる。

3. 学会誌
・いのちのことば社から、販売委託本の残部を神戸ルーテル神学校に送るとの連絡があった。在庫に関しては各部会に委ねる。バックナンバーの保管については神戸ルーテル神学校に確認する。
・安黒師から論文をキンドル版で刊行したいという問い合わせがあり、出典を明確化する条件で了解した。
・51号は全国研究会議の内容が掲載予定なので、延期となった場合には休刊する可能性がある。

【審　議】
1. 全国研究会議準備委員会と西部部会からの要請を受けて、2021年に会議を延期し、開催することを決めた。開催時期は西部部会に委ねることとする。

2. 西部部会から提案された、規約第3条に「三位一体」を加える案を決定した。

3. 学会誌の会計報告と予算案を承認した。

4. 会費未納者の扱いについては、各部会の責任で対応する。今後の検討課題とする。

5. 学会のHP上に、改正された規約や変更事項を載せる。

6. 西部部会から各部会の分担金の査定について質問が出たので、東部部会理事会で確認する。

7. 来年の全国理事会は2021年6月14日（火）13時からオンライン会議とする。

閉会の祈り：平塚理事

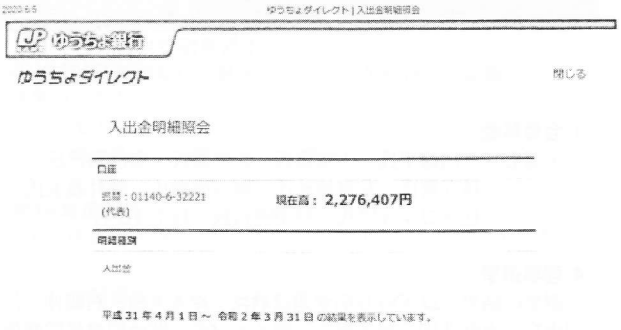
日本福音主義神学会　全国　会計

2019年度決算報告　および　2020年度予算

収入の部			
項　目	2019年度予算	2019年度決算	2020年度予算
東部分担金	360,000	360,000	360,000
中部分担金	70,000	70,000	70,000
西部分担金	400,000	400,000	400,000
学会誌売上	50,000	81,821	80,000
広告収入	150,000	125,000	130,000
献　金	0	0	0
雑収入	0	0	0
基金から繰入	200,000	200,000	0
前年度繰越	1,062,173	1,062,173	1,067,986
合　計	2,292,173	2,298,994	2,107,986

支出の部			
項　目	2019年度予算	2019年度決算	2020年度予算
学会誌出版費	800,000	800,000	0
全国理事会費	150,000	112,532	0
事務通信費	1,000	440	1,000
ニュース発行費	20,000	18,036	20,000
研究助成費	0	0	0
全国研究会議費	300,000	300,000	0
名簿作成費	0	0	0
基金へ繰出	0	0	0
雑費・予備費	1,021,173	0	2,086,986
次年度繰越	0	1,067,986	0
合　計	2,292,173	2,298,994	2,107,986

総　計		現在額	
項　目	金　額	項　目	金　額
出版基金	1,208,421	郵便振替	2,276,407
全国研究会議基金	0	現　金	0
次年度繰越	1,067,986		
合　計	2,276,407	合　計	2,276,407


2020/6/5　ゆうちょダイレクト | 入出金明細照会

ゆうちょ銀行

ゆうちょダイレクト　閉じる

入出金明細照会

口座

郵替：01140-6-32221 (代表)　現在高：2,276,407円

明細種別

入出金

平成31年4月1日～ 令和2年3月31日 の結果を表示しています。

以上、決算を報告し、予算を提案致します。
2020年6月15日
日本福音主義神学会全国会計　石崎伸二

日本福音主義神学会の活動のさらなる発展のために、献金をお願いいたします。
郵便振替口座 01140-6-32221「日本福音主義神学会」

日本福音主義神学会ニュース
2020年9月1日発行

発　行　日本福音主義神学会
編　集　檀原久由
印　刷　（株）プレイズ